

素晴らしい年へ期待

東部ファスナー協働組合

理事長 望月 紀人

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は東部ファスナー協働組合ならびに組合員に対し、格別なるご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。おかげさまで当組合は創立 70 周年という節目を迎えることができました。

当組合の記録を遡りますと、ねじ業界において最初の組合であろう東京螺子組合が設立されたのが大正 15 年とあります。その後、製造方法の違いによる分離や、戦時体制に入り法律が次々と改正され、それに従い組織変更し名称が変わりながら終戦を迎えました。戦後、統制経済下において材料の割当による紛糾により分裂や合併をし、昭和 23 年に「東部製線鉸螺工業協働組合」が設立され、平成 2 年に現在の組合名に変更し今に至ります。

70 年という永きに渡る時間のなか、時代の潮流と共に多様化複雑化するグローバル経済というマーケットが生まれ、組合員企業は多大な努力のもと、その変化に対応し功績を積み重ね、独自の企業競争力を備えて活躍を続けております。近年、大企業のコンプライアンス問題やアジア諸国における政治不安、大国間におけるパワーバランスの変化など、先行きの不透明感を感じさせる出来事が次々と起きるなか、国と国、企業と企業、人と人との繋がりにおいて相互信頼の構築のあり方が問われ、各コミュニティにおける信頼関係を築くコミュニケーションが重要な時代と感じております。そのような時代において組合という存在意義についても改めて考えながら、今後 80 周年、90 周年、そして 100 周年を迎えられるよう、協働組合の原理理念である相互扶助のもと、組合員企業における災害時対応や後継者問題を含む事業継承の策定、競争力強化などに対し、実情に即した事業活動を行いお役に立てるよう、より一層の努力をする次第です。それに伴い組合員はじめこの業界に携わる方々に広くご意見を頂戴し、活用していきたいと思うと同時に、その活動がこの業界にとってさらなる発展に寄与していくことを心より願っております。

さて、今年はいぬ年です。いぬは社会性があり人とのコミュニケーションが上手で、お産が軽いとされていることから安産の象徴でもある親しみ深い動物です。それに見習い、組合活動において信用信頼を礎とした良質なコミュニケーションを取ることにより、良い知恵や良い関係が生まれ、それを活かしてより素晴らしい組合になる年ではと期待しております。皆様に取りましても本年が素晴らしい年になることを祈念申し上げて年頭の挨拶とさせていただきます。